

八千代リハビリテーション病院で
一緒にお仕事をしてみませんか？

看護師入職お祝い金制度 はじめました!!

看護師の方は、採用させていただいた場合

(税込)
入職祝金30万円を支給いたします。

但し、紹介業者からの紹介はこの制度は除外とさせていただきます。※常勤・夜勤できる方のみ

<http://yachiyo-reha.com> 八千代リハビリテーション病院



「回復期リハビリテーション」について 詳しいホームページができました!

「リハビリテーション」を耳にしたことはあっても、「回復期リハビリテーション」という言葉は、聞きなれない方も多いのでは?そんな数多い疑問を解決するための、ホームページができました!スマホ版でも見やすく、わかりやすいのでぜひご参照ください。

[回復期リハビリテーション.net](http://kaifukuki.net)

<http://kaifukuki.net/>



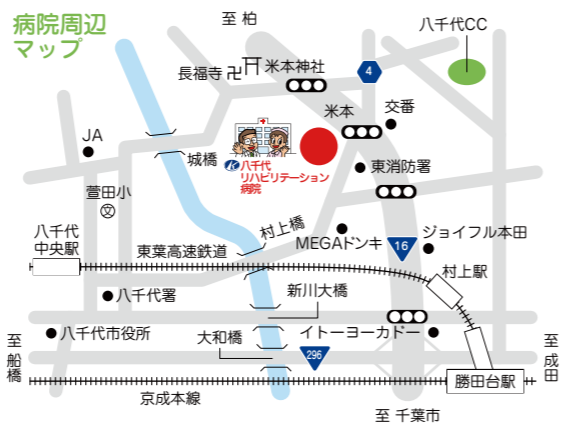
八千代リハビリテーション病院 広報誌



平成29年 夏発行

企画発行 八千代リハビリテーション病院
広報委員会

〒276-0015 千葉県八千代市米本1808番地
TEL 047-488-1555 / FAX 047-488-1552



CONTENTS

- 2P ❖ 新任医師紹介
- 2-3P ❖ 転籍者紹介
- 4P ❖ 医療連携懇談会
- 5P ❖ ケアワーカー勉強会
- ❖ 接遇研修
- 6P ❖ 伊藤Drコラム
- 7P ❖ 新人歓迎会
- ❖ カマチグループ関東地区リハビリテーション懇親会
- 8P ❖ 八千代リハビリテーション病院看護師募集
- ❖ 回復期.NETホームページ開設

一般社団法人 巨樹の会
八千代リハビリテーション病院

〒276-0015 千葉県八千代市米本1808番地
<http://yachiyo-reha.com>

平成29年度

医療連携 懇談会

5月22日(月)東京女子医科大学八千代医療センター、5月31日(水)千葉脳神経外科病院、6月19日(月)成田赤十字病院との医療連携懇談会を開催致しました。

平成28年度にご紹介いただきました患者様の症例報告ならびに経過報告をさせていただきます。懇親会では、主治医の先生方や看護師、リハビリスタッフならびにMSWの方々と和やかな雰囲気の中、親睦を深めることができました。今後も患者様が安心して急性期病院から当院に転院していただけるように顔の見える連携を心掛けていきます。

医療連携室 高岡 恵利

5.22

東京女子医科大学
八千代医療センター



5.31

千葉脳神経
外科病院



6.19

成田赤十字病院



ケアワーカー勉強会



6月2日(金)起居・移乗介助の確認について研修を行いました。企画・準備・司会まで初めてケアワーカーで決めて行いました。

2、3階ワーカー各4名1組で7班に分かれ、患者役・介護役に分かれ実践です。各階の主任たちにも班に入ってもらい、ダメ出しや、指導を受けました。

日頃、患者様の転倒・ケガ、また介護する側も腰を痛めないよう気をつけて仕事をしているつもりでしたが、いざ皆で実践してみると、緊張しているせいか上手くいきませんでした。ワーカー側からは、「自分のやり方が正しいのか違う視点から見てもらえて良かった」「身体の負担にならない移乗方法が、改めて確認できて良かった」「基本を確認した上で、患者と介護者の両方を体験できて良かった」などの意見が出ました。

ワーカーが企画するのは大変でしたが、実践したことや皆の意見を聞くことができ、勉強会をして良かったと思っています。また、皆の勉強したいことなど意見を聞きながら、2回、3回と続けていけたらと思います。

2階 ケアワーカー 糸川 京子



接遇マナー研修



5月16日(火)、当院において櫻井美鈴先生を講師にお招きし、接遇・マナーの研修を実施しました。

研修では、医療従事者としての心構えや信頼される接遇・マナーについて学びました。グループワークでは、患者様の信頼を得るために「挨拶」「笑顔」「身だしなみ」「思いやりの心をこめて接する」など、沢山の意見を聞くことがで

き、有意義な時間となりました。

「時間は最も貴重な財産」「嬉しいことを沢山ふやすと、感謝の気持ちが湧いてくる」とのお話が最も印象に残りました。

このお言葉の通り、笑顔の多い日々が送れるよう、一日一日を大切に過ごしていきたいと思いました。

看護部クラーク 福士 由季

皆さんポリファーマシー、Polypharmacy、多剤併用、多剤処方という言葉はご存知だと思います。2年前頃より世間の話題となっています。ネットでも簡単に見られます。

例えば…

1) NHK、クローズアップ現代(2015.5.19)に【高齢者に1日24錠の内服薬が複数の医療施設より処方され、記憶障害、めまいなどにて救急病院に搬送された】

また新聞でも、

2) 朝日新聞(2015.5.25) 【「薬漬け、処方されるまま」高齢者は認知症、糖尿病、循環器疾患、ロコモ、などで20種類以上の内服薬処方の結果救急外来に!】が報道されました。

高齢者は、高血圧、糖尿病、消化不良、不眠、関節痛などの多数の病気・愁訴を持つことが多く、それぞれに対し、担当科より内服薬が処方され、結果として多剤処方となる。本来は疾患の説明と、患者個人の状況に応じた自己管理が基本であり、薬剤は最小必要限度とすべきであるが、実際には複数の医師から、多数の薬剤処方が一般的で、患者も喜ぶ傾向にある。そして、①多剤による相互作用、相乗作用、時には②併用禁忌薬の処方、③多量の飲み忘れ、飲み残し、④残り薬を多量に服用、などの状況が生じ、問題となる。

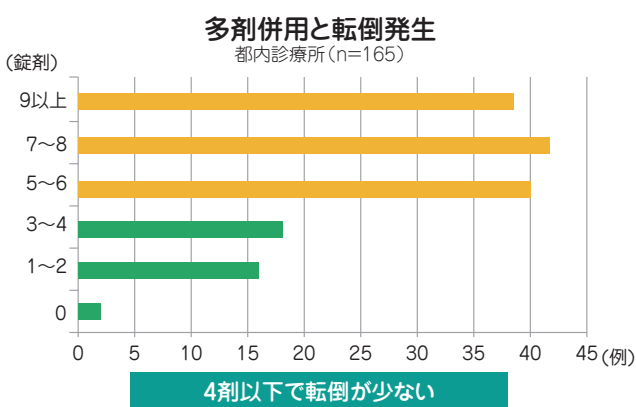
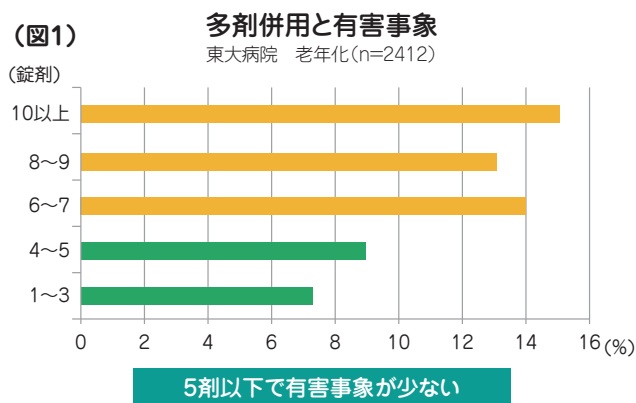
上記の報道では睡眠薬、向精神薬、利尿薬、抗うつ薬、鎮痛薬などの処方では注意を要するとし、**薬剤の一元管理が重要**であり、**5種類以上は避ける**ことが好ましいと結論した。

3) 最近の週間朝日(2017.7.21)「ムダな薬を整理する」の特集にて同様な多剤併用による副作用:利尿薬と血圧降下薬の相互作用による過度な低血圧状態などが記載された。そのうち、千葉大の報告によれば、入院患者のうち、高齢者の26%は10剤以上の内服、うち半数ではベンゾジアゼピン系睡眠薬であり、それは「**高齢者の安全な薬物療法ガイドライン**」にて転倒予防、意識障害の観点より、特に慎重投与な薬物とされる。

これまで東大老年病科の結論では、6剤以上の薬物投与にて、薬物による有害事象が増えることが確認されている。特に

転倒の危険性は5剤以上で明確に増加する(図1)。一般的には5種類までが許容量とされる。特に注意を要する薬剤は認知機能の低下や、転倒・骨折のリスクが高くなるものである(表1)。このようなPolypharmacyの知識は既に一般常識化しつつある。

ここ八千代リハビリテーション病院でも、高齢者が多く、転院時に紹介先の病院から既に多剤処方されていることが多い。実際入院患者の転院時の処方を見ると、A氏80歳台:大腿骨頸部骨折、脳梗塞、片麻痺、変形性膝関節症、では10剤、B氏70歳台:脊椎圧迫骨折、骨粗しょう症、脳梗塞、片麻痺、では11剤、C氏50歳台:骨盤骨折のみでも9剤と多い。私たち、医師、薬剤師、看護師、理学療法士は、力をあわせて多剤服用による合併症、さらに高齢者に転倒、認知機能障害などをもたらす薬剤に注意するなど、個々の患者の処方を吟味する必要がある。



(表1) 高齢者が特に注意すべき副作用と薬の種類

	薬物(クラスまたは一般名)	代表的な一般名
認知機能低下	抗精神病薬全般	定型抗精神病薬(ハロペリドール、クロロプロマジン、レボメプロマジンなど)、非定型抗精神病薬(リスペリドン、オランザピン、アリピプラゾール、クエチアピン、ベロスベピンなど)
	ベンゾジアゼピン系睡眠薬・抗不安薬	フルラゼパム、ハロキサゾラム、ジアゼパム、トリアゾラム、エチゾラムなどすべてのベンゾジアゼピン系睡眠薬・抗不安薬
	三環系抗うつ薬	アミトリプチリン、クロミプラミン、イミプラミンなどすべての三環系抗うつ薬
	パーキンソン病治療薬(抗コリン薬)	トリヘキシフェニジル、ビペリデン
	H1受容体拮抗薬(第1世代)	すべてのH1受容体拮抗薬(第1世代)
転倒や骨折	H2受容体拮抗薬	すべてのH2受容体拮抗薬
	オキシブチニン(経口)※過活動膀胱治療薬	オキシブチニン
	ベンゾジアゼピン系睡眠薬・抗不安薬	フルラゼパム、ハロキサゾラム、ジアゼパム、トリアゾラム、エチゾラムなどすべてのベンゾジアゼピン系睡眠薬・抗不安薬
	非ベンゾジアゼピン系睡眠薬	ゾピクロン、ソルビデム、エスゾピクロン
	ループ利尿薬	フロセミドなど
受容体サブタイプ非選択的α1受容体遮断薬	テラゾリン、プラソシル、ウラピシル、ドキサソジン	
チアゾリジン系※糖尿病治療薬	ピオグリタゾン	

おくすり手帳を使ってみよう!



平成29年6月20日に椿山荘で開催されたカマチグループ懇親会に参加いたしました。グループ全体で353名の同志を目の前にして、心強いと感じました。また、来賓の方々から祝辞を頂き、より一層責任と自覚をもって日々の仕事に取り組んでいこうと思えました。出し物では、千葉3病院でソーラン節を披露しました。私は八千代リハビリテーション病院の出し物の取りまとめ役を務める機会を得

ました。実際に会って相談できないという状況の中、どのようにしたら楽しく元気を表現できるか考えることで、まとめることの大変さや連携を図る難しさを学びました。ソーラン節では、準優勝することができ達成感を得ることが出来ました。今回学んだことをチーム医療に活かしていこうと思います。このような経験をさせて頂きありがとうございました。

作業療法士 道倉 健太